

環境取り組み体制

各工場や機能別に環境委員会を設置し、迅速かつ効果的な取り組み体制を構築しています。

2007年度は全社省エネ分科会の中に設備専門分科会・多消費設備改善WG(ワーキンググループ)を新設し、生産設備の省エネ活動を強化しました。また海外法規制への対応として鉛フリーはんだプロジェクトの活動強化やREACHプロジェクトの設置を行いました。

2007年度の環境活動について

当社では、コンプライアンスの徹底と、環境汚染の未然防止活動を環境活動の基本とし、日常の業務における品質問題の未然防止活動、納期遅れの未然防止活動等を進めることが、そのまま省資源・省エネルギーに直結するとの考え方で環境活動を進めていますが、まだまだ改善の余地があります。

2007年9月には温室効果ガス削減活動として進めてきたSF₆ガスの代替化技術の開発により『第10回オゾン層保護・地球温暖化防止大賞』で「経済産業大臣賞」を頂きました。

一方、2007年10月には本社工場で配管から苛性ソーダが噴出する事故があり、周辺環境への影響を確認したのち再発防止対策を行いました。事故の発生を重く見て社内では違反・苦情ゼロ活動を強化し、環境ヒヤリの制度を設けて事例の社内展開により未然防止活動に取り組んでいます。



全社環境管理責任者
専務取締役

恒川 清

全社環境委員会

委員長 取締役社長 木下 潔
 全社環境管理責任者 専務取締役 恒川 清
 全社副環境管理責任者 取締役 中村 弘之
 委員 副社長、
 各環境委員会委員長

全社環境委員会事務局

製品環境委員会

- 鉛フリーはんだ プロジェクト
 - 代替技術、製品品質確認、切替計画各 WG
- 6価クロムフリー プロジェクト
 - 代替技術、製品品質確認、切替計画各 WG
- ELV STEP2 プロジェクト
 - 代替技術、製品品質確認、切替計画各 WG
- 切替実施 プロジェクト
- IMDS プロジェクト
 - 代替技術選定、システム構築、登録各 WG
- VOC プロジェクト
 - 代替技術、製品品質確認、製品切替各 WG
- 品質保証 プロジェクト
- REACH プロジェクト

生産環境委員会

- 温暖化防止推進部会
 - 全社省エネ分科会
 - SF₆ガス削減分科会
 - 輸送合理化分科会
- 環境保全推進部会
 - 歩留り向上分科会
- 本社工場環境委員会
- 西枇杷島工場環境委員会
- 豊田工場環境委員会
- 音羽・萩工場環境委員会

本社部門

- 事務棟環境委員会
- VCセンター環境委員会
- モノづくりセンター環境委員会
- グリーン調達委員会
 - 協会会幹事会
- 海外事業体環境連絡会
- 環境報告書分科会

(2008年8月改正)